

県立中央病院連携室だより

-ともに歩む地域医療-

Vol.28

●発行日 平成29年6月
●発行 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL 019-653-1151 (代)
●URL <http://www.chuo-hp.jp/>

《地域医療連携推進の基本方針》

1. 顔の見える連携
2. 地域連携パスと逆紹介の推進
3. 紹介患者の迅速予約と優先診療
4. PHSによる Dr.Direct Call
5. 24時間救急受け入れ体制
6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進
7. 高額医療機器の共同利用推進
8. 地域医療研修センターの利用の推進



形成外科 新規開設のご挨拶

形成外科長

新井 雪彦



平成29年4月より、形成外科が常勤医師一名体制にて発足致しました。当院ではこれまで外来も含めて形成外科診療は行っておらず、文字通りゼロからの出発となりましたが、発足より2ヶ月余りが経ち、徐々にご紹介いただけるようになって参りました。

形成外科の対象疾患と致しましては、顔面・手指等の外傷や先天異常、眼瞼下垂等の変性疾患、皮膚皮下の腫瘍、およびそれに伴う組織欠損の再建、難治性潰瘍の治療等が挙げられます。マイクロサージャリーを含めた基本的な手術加療を行う態勢が整いつつありますが、唇顎口蓋裂

や、血管腫の硬化療法、各種のレーザー治療に関しては、現状では基本的に他施設に依頼することになります。今後、色素性疾患や血管腫などの保険適応のあるレーザー機器については整備を目指して参りたいと考えております。しかしながら、県立病院である当院の性格上、美容外科診療は行うことができません。

形成外科医が常勤する病院は盛岡医療圏においても限られており、平成31年9月には岩手医科大学附属病院が矢巾へ移転いたします。こうしたことから、当科の果たすべき役割は急速に増していくものと考えております。地域の先生方に安心して患者さんをご紹介いただけるよう、連携を密に取りながら症例・実績を重ねつつ、対応症例の幅を広げて参りたいと考えております。

当科の外来日は、火曜、水曜、木曜の午前中となっております。一人体制のためなかなか思うに任せませんが、医療クラーク等の助けも借りながら、患者さんの待ち時間を可能な限り短くするべく、効率的な診療を目指しております。患者さんをご紹介頂きます際には、紹介状の内容を事前にFAXにてご送付頂きますと、待ち時間縮減に繋がりますので、大変ありがたく存じます。

患者さんおよび先生方のお役に立てますよう、日々向上を図って参りますので、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



新任医師の紹介



よろしくお願ひします



形成外科長
あらい ゆきひこ
新井 雪彦



消化器外科医長
すずき おん
鈴木 温



消化器外科医長
かみや くろんど
神谷 蔵人



産婦人科医長
みうら ゆうき
三浦 雄吉



腎臓・リウマチ科医長
ごとう たいじろう
後藤 泰二郎



泌尿器科医長
いわさき かずひろ
岩崎 一洋



神経内科医師
かまだ あさみ
鎌田 麻美



呼吸器内科医師
ちば しんじ
千葉 真士



整形外科医師
あべ たかひさ
阿部 高久



耳鼻いんこう科医師
おいかわ しんいち
及川 伸一



歯科口腔外科医師
ひの まさふみ
樋野 雅文

〔 レジデント 〕

総合診療科医師
あかぬま はな
赤沼 英

消化器外科医師
おかだ かおる
岡田 薫

整形外科医師
ふじた りょう
藤田 涼

小児科医師
ごとう ゆうすけ
後藤 悠輔

産婦人科医師
つちや しげいちろう
土屋 繁一郎

神経内科医師
やまくち えりこ
山口 枝里子

脳神経外科医師
さとう よしみち
佐藤 吉通

腎臓・リウマチ科医師
いとう さだとし
伊藤 貞利

腎臓・リウマチ科医師
もろおか みずほ
諸岡 瑞穂

腎臓・リウマチ科医師
やさか けん
矢坂 健

循環器内科医師
わやま けいま
和山 啓馬

心臓血管外科医師
たばやし ゆか
田林 侑花

心臓血管外科医師
おおたに まさゆき
大谷 将之



登録医

ご紹介コーナー



今回は、滝沢市の『ゆとりが丘クリニック』をご紹介します。

盛岡市医師会の主催で、月に1度日曜日の朝に吸い殻清掃活動の日があります。

ある時、県中の野崎副院長とたまたま一緒にモク拾いをしながら話をしていたのですが、何かの拍子で“そりゃ先生、我々は救急医療、先生達はかかりつけ医でしょ”と先生が話されました。その時、私はいわゆる“かかりつけ医”の役目が妙に腑に落ちました。

以後、当院はかかりつけ医であることを目指してクリニック運営に励んでいるつもりです。

毎年の当院統計によると200人程の患者さんは県中紹介となり、適切な処置はもちろん実に示唆に富んだ臨床情報提供書を頂いております。特に専門科以外の患者さんについては“具体的治療方針とともに再紹介への条件”まで示され、誠にありがたいと同時に最新の医学情報を得る貴重な機会となります。

当院ではこれをコピーしてカルテに貼り付け、私は学生しながらにマーカーで要点に線を引いて利用させて頂いております。どうやら当院の“かかりつけ医”は県中の後方支援をなくしては成立しないシステムのようなのです。

県中すべてのスタッフに感謝しつつ、皆様があまり頑張りすぎてオーバーワークならないことを切に望んでおります。何より“かかりつけ医”が困りますので。



ゆとりが丘クリニック

院長 高橋 邦尚 (たかはし くにひさ) 先生

ゆとりが丘クリニック

住 所	〒020-0638 滝沢市土沢541							
電話 / FAX	☎ 019-699-1122 / FAX 019-699-1121							
診療科目	内科・呼吸器科・胃腸科・放射線科							
診療時間		月	火	水	木	金	土	日
	9:00~12:30	●	●	休	●	●	●	休
	15:00~19:00	●	●	休	●	●	●	休
	土曜日夜7時まで診療いたしております							
休 診 日	水曜・日曜・祝祭日							



お知らせ

〔認知症ケアチーム立ち上げについて〕

当院では4月に認知症ケアチームを立ち上げ、活動を開始しました。

認知症ケアに係る専門知識を有した専任の医師・看護師・社会福祉士などによる多職種チームが入院中の患者さんにあわせてそれぞれの専門知識を活かし、病棟スタッフと協力してサポートしています。



〔第16回 糖尿病ネットワーク勉強会〕

日時：平成29年6月29日（木）19:00~20:00

会場：県立中央病院4階大ホール

事前申し込み不要

内容：『GLP-1 受容体作動薬が注射介助を楽にする?!』

講師：菅原 隆（総合診療科長）他



お問い合わせ：総合診療科外来 内線 2157



地域医療福祉連携室を紹介します



『顔の見える連携の強化』のため、地域連携コーディネーター（看護師）を増員し、連携体制の強化をはかっています。

地域の医療機関や介護・福祉関係施設のみなさまとの連携を大切にし、患者さんが安全で安心した生活を送ることができるよう入院早期から多職種で関わり支援しております。

困った時はいつでもお気軽にご連絡ください。

【地域連携コーディネーター】 ①

入院・外来患者に関すること

- ・退院後の生活場所について
- ・医療、介護サービスの利用について
- ・病気や治療上の不安や気かりについて

連絡先：内線 2386・2121・2193
専用 FAX：019-654-5052

【社会福祉士（MSW）】 ②

暮らし・お金・仕事のこと

- ・医療費や生活費などの経済的なことについて
- ・福祉サービス、社会保障制度の利用について
- ・療養中の不安や心配なことについて

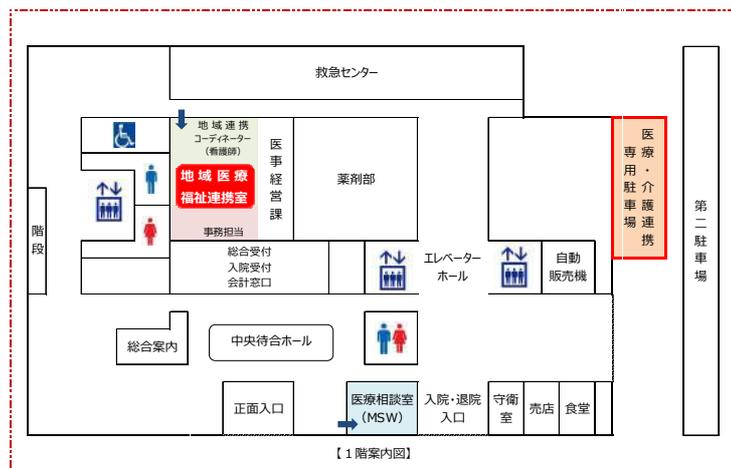
連絡先：内線 2118・2119・2038
専用 FAX：019-622-9995

【事務】 ③

院内外の連携業務に関すること

- ・紹介患者の診療予約受付(24時間対応)
- ・地域医療福祉連携室の事務処理について

連絡先：内線 2191・2192
直通 TEL：019-622-9996
専用 FAX：019-654-5052



病棟別診療科案内

～平成28年10月に病棟再編し各階の診療科が変更になりました～



西病棟		東病棟
	9階	整形外科、腎臓・リウマチ科
消化器外科、消化器内科、放射線科	8階	消化器内科、がん化学療法科
血液内科、神経内科	7階	脳神経外科、神経内科、眼科、ペインクリニック科
心臓血管外科、乳腺・内分泌外科、耳鼻いんご科、消化器外科、形成外科	6階	循環器内科、皮膚科
呼吸器内科、呼吸器外科、歯科口腔外科	5階	腎臓・リウマチ科、泌尿器科
総合診療科、小児科、小児外科、呼吸器内科、産婦人科	4階	産婦人科
	3階	I C U、E R・H C U